



J R 連合青年女性委員会 第23回ユースラリー in 四国

∞～虹の橋を渡っておいでまい～

平成30年5月26日～28日の3日間、JR連合青年・女性委員会主催「第23回ユースラリーin 四国」が香川県にて開催されました。JR連合に加盟する全国各地の単組、地協、エリア連合の参加者及び実行委員など総勢110名が集結しました。JR四国労組、グループ労組からは参加者と実行委員を合わせ計37名が参加し、レクリエーションやウォークラリーを通じて普段なかなか会うことのできない全国の仲間達と「横のつながり」を深めると共に、「労働政策」の学習会を通して労働政策は身近なものであること、組合の必要性について理解を深めることができました。

1日目： 交流レク・BBQ



1日目は琴平駅に集合し、バスで『まんのう公園』へ向かいました。当日は雨の予報でしたが、快晴の空の下、開会式を行い、チームに分かれて交流レクリエーションを行いました。人間知恵の輪、缶詰みりレー、新聞紙乗りゲーム、うまい棒ゲーム等たくさんのレクリエーションを行いました。

BBQでは長旅の疲れや交流レクで渴いた喉を潤すようにお酒を飲み他労組の仲間と交流を深めました。夜は各グループごとに部屋へ戻り、翌日のウォークラリーに向けて夜遅くまで作戦会議を行いました。

2日目朝：ウォークラリー（香川県をチームで散策）



香川県の名所やグルメを満喫!

2日目のイベントは、チームに分かれ香川エリアの各チェックポイントを自由に散策するウォークラリーです。まんのう公園をスタートに高松市内のホテルをゴールとして、全チーム元気よく出発していきました。各地のチェックポイントを巡り、写真を撮影しミッションをクリアしポイントを争いました。

各チームの戦略はまちまちで、電車やバスを効率的に使ったり、高得点を狙ったり、ただただ楽しむことだけを考えるチームも！突然開催される臨時ミッションや慣れないエリアの散策に悪戦苦闘しながらも香川県のグルメや観光地に没頭し、時にはミッションを忘れてたりもしながら、ウォークラリーを満喫しました。チームそれぞれの楽しみ方で絆を深め、初日以上に単組の枠を越えた交流が出来ました。

2日目夜：交流会 & ウォークラリー結果発表

夜には、JR連合の松岡会長より激励を受け、橋本事務長の乾杯で交流会スタート！ウォークラリーでの結果発表では会場は歓声や笑い声で包まれました。各単組紹介も単組ごとに味があり、個性であふれていました。この二日間で結束力も強まり、参加者全員と交流し、最後の夜を多いに楽しみました。



玉木議員も
急遽参加!

3日目： 学習会「労働政策から学ぶ組合の必要性について」

J R連合青・女鈴木事務局長から労働政策について講義がありました。労働三権・労働三法・労働協約・就業規則等を再度分かりやすく学習しました。その後、現在の労働環境の問題や36協定、働き方改革について勉強し、連合が目指す社会像＝働くことを軸とする安心社会を目標にJ R連合を通じて幸せ実現を全員で目指そう！と話がありました。また、新たな産業革命「AI」や「IoT」等の技術が発展し鉄道業・関連事業はどう変化するのか、今まで「人」が行っていた仕事が無くなれば我々はどんな仕事があるのか、各グループごとにディスカッションを行いました。自分たちでは考え付かないような発想や意見があり、とても良かったと思います。



一人ひとり真剣に取り組みました



J R四国連合として参加

学習会では、労働政策は身近なもので、国は本気で労働環境にテコ入れを進めており、誰もが長く働き続ける環境を作るには組合員一人一人が声をあげ男性・女性ともに働きやすい環境を作っていくことが重要視されていると学びました。今回の経験を自分一人のものとしせず、単組や所属分会のみんなに伝え、働きやすい環境を作る活動を積極的に行いたいと思います。

最後に笹岡議長より一言

参加者の皆さん、おつかれさまでした！ユースラリーを通じてJ R連合青年・女性委員会の皆さんとの「仲間の環」を拓かれた3日間だったと思います。今回は四国開催という事もあり、本部青年・女性会議が実行委員としても運営に携わり企画力の向上も図れました。また、レクだけではなく、学習会を通じて正しい知識を身に付けると共に情報の共有化を図れた事と思います。最高の思い出や学んだことをJ R四国労組の青女の仲間にも共有していきましょう！！

青女の皆さんまずはレクから組合活動に参加してみてください。お待ちしております！！

次は君が参加者だ！

